

# 八女市未来づくり協議会

～まちづくり団体の情報誌 第6号～

発行：八女市役所 企画振興部 地域づくり・文化振興課 TEL0943-23-1224



八女市未来づくり協議会では、平成27年12月3日～4日に、各地区のまちづくり協議会役員と市職員の総数47名が参加し、熊本県美里町の美里フットパス協会を訪れ、フットパス体験・研修を行いました。

“フットパス”とは森林や田園地帯、古い街並みなど、地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩く小径(こみち)のことで、イギリスが発祥となっています。

美里町フットパス協会の井澤り子副会長と現地ガイドの井津さんから地域の色々な話を伺いながら、約5kmのコースを歩きました。地域のありのままの景色を楽しみ、立ち止まっては地域の方との会話を楽しむことができました。また、途中では地域の女性による「おもてなし」となる軽トラカフェを体験し、手作りのおまんじゅうや地元で採れた野菜・お漬物などをいただきながら交流も行いました。今回は15のフットパスコースの中から二俣橋コースを案内していただき、全員が歩き通して心地よい気分を味わいました。

そして、歩く人との交流を通して地域が元気になる、歩いてもらうことで地域の良さを伝えることができる、地域の人の特技を活かした活躍の場ができる、経費をかけずあるものを活用して楽しめる等、井澤副会長が言われる「地域が主役のまちづくり」を実感することができました。



翌日には、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている鹿児島県出水市の「出水麓武家屋敷群(いずみふもとぶけやしきぐん)」を見学しました。1599年から30年かけて整備が続けられ、44haの屋敷群

の中に150戸あまりの武家屋敷や武家門が残っています。一般公開されている武家屋敷が2軒、庭のみ公開されている1軒があり、町割は400年前からほとんど変わらず当時の面影を伝えています。

今回の視察研修では、各地域にある「ありのまま」の宝を再発見して、それをまちづくりに生かしていき、住民が主役で取り組んでいることを学びました。今後、それぞれのまちづくり協議会においても参考にしていきます。



《会長あいさつ》 八女市未来づくり協議会会長 草場 雄 二 郎

地方の時代と言われて久しくなります。国は地方分権、地方創生、一億総活躍と次々と政策を打ち出していますが、要は地方の特性を生かし地方の責任において振興計画を作れば交付金を交付するような制度です。これは、私達が推進している地域振興計画そのものです。自分達の地域がこれからも安心・安全で活気ある地域づくりをするために、市が行う事業・住民が行う事業・市と住民が協働で行う事業を選別計画することが地域振興計画です。来る28年度には21の全まちづくり団体が「地域振興計画」を策定し、地域の活性化に向けた取組みに活かしたいものです。



《市長あいさつ》 八女市長 三田村 統之

日頃より本市のまちづくり、地域づくりにご尽力いただき心よりお礼申し上げます。さて、今年度も第4次八女市総合計画前期基本計画に掲げた諸施策を確実に実施し、九州北部豪雨災害に伴う復旧工事も完了間近となりました。28年度は、後期基本計画の初年度として、次の5年を見据えた土台をつくる重要な年になります。そこで早速4月から、各まちづくり協議会代表や行政区長、自治公民館長等を対象とした「市長とのまちづくり懇談会」を開催し、市政報告や意見交換を行う予定です。今後も、地域の特性と魅力を活かしながら、市民との協働によるまちづくりを推進し、安心して暮らせる八女市を目指してまいりますのでご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



## ○ 光友地区地域振興会議「井戸端会議推進事業」

### 【事業の趣旨】

光友地区は市中心部に近く、買い物などは車でほんのひと走りの便利さと同居しています。半面、地区内にはミニスーパー1店、コンビニ2店、小売店2店しかなく、人と人の出会いの場がなくなっています。小売店が少なくなり、高齢者は買い物にも出られません。

私たちは、人の出会いの場を増やそうと全集落へのバンコ普及を思い立ちました。公民館などにバンコを置き、そのバンコに座って顔を見合わせながら話して欲しい。井戸端会議に花を咲かせて欲しいという願いです。

なお、バンコはポルトガル語で「腰掛け、床机」を意味します。

### 【概要】

事業名を「井戸端会議推進事業」としました。補助金（50万円）を活用し、大小のバンコを組み立てる素材を22集落に配布しました。

バンコは2種類用意しました。

大型 長さ1 m80cm、幅100cm、高さ45cm

小型 長さ1 m20cm、幅60cm、高さ45cm

大型の上板には隙間なく板を張っていますので、重さ約10<sup>キロ</sup>。これに防腐剤などの薬剤を注入していますので、約2倍の重さになり、組立は結構大変な作業となりました。9月3日に立花体育館駐車場で部材を配布するとともに、大小の組立作業を実演。その後、各集落で組立作業を行っていただきました。多いところでは10人ほどが集まり、わいわいがやがやの賑やかな作業が行われたようです。

バンコ素材は福岡県八女森林組合に発注しました。八女材の消費拡大につながって欲しいと願っています。防腐剤、防蟻薬剤の注入で、20年は使用可能ということです。

### 【事業効果及び今後の展望】

ほとんどの集落はバンコを公民館に設置。毎月の空き缶、空き瓶収集のときは、バンコに座って話し合う姿が見られます。小さい方のバンコを人が良く通る道筋に置いている集落もあり、散歩の途中に座って一休みという様子が伺えます。

地域のコミュニケーションが大事だと言われています。訪ねて行って玄関口で話し込むのも大事だと思いますが、あたたかい日差しを浴びながらゆったりした気分で仲間と過ごす。心おきなくおしゃべりをする。こんなことから地域のつながりが生まれ、強くなっていくのではないかと。今回のバンコはその一助に過ぎません。昔はゆっくり、のんびりの中から人と人のつながりが生み出されていったのでしよう。せわしい現代においても、人の出会いの大切さを大事にしていく地域であってほしいと願っています。



▲作業風景



▲完成したバンコ

## ○ 白木地区地域振興会議「旧白木小学校山林公園化事業（1期）」

### 【事業概要】

旧白木小学校跡地利用については廃校以後、スポーツフェスティバルや秋の白木収穫祭、グラウンドゴルフなどグラウンドの利用は活発に行われている状況です。グラウンドから通じる裏山は授業の一環として野外活動として活用されるなど白木住民には貴重な憩いの場でありましたが、現在は、廃校以後徐々に荒廃が進行しております。年に3回程度地域振興会議役員で下草刈りや雑木伐採を行い整備していましたが、裏山整備の要望は数多く寄せられていました。

この旧白木小跡地を白木のシンボルとするため、山林中央部に横断する道路を整備し、もみじ等を植栽し自然に親しむ公園に改良することを目的とした事業です。



▲ 旧白木小裏山

### 【事業実績】

山林面積 15,000 m<sup>2</sup>の不要樹木（孟宗竹）の伐採、遊歩道（管理道路）の整備、遊歩道の安全整備、紅葉樹木の植栽（本年度植栽本数 120 本）、植栽樹木の周辺整備参加延べ人数 110 人（振興会議役員・ボランティア）

### 【事業効果及び今後の展望】

樹木が成長するまで一定期間かかりますが、その間共同作業等で住民の一体感を育て小学校跡地を白木の象徴とすることを考えています。また、公園化することで観光振興の一役を担うことも期待しています。



▲ 作業風景

## 第2回八女市未来づくり協議会開催

各協議会委員と市長をはじめとする市執行部の出席のもと、本年度事業として第2回の協議会を開催しました。

第1部は、情報交換会として「地域づくり活動事例発表」を行い、光友地区地域振興会議（発表者：福原信彬会長）と白木地区地域振興会議（発表者：持丸源二郎会長）の2団体から、取り組み等の内容について発表してもらいました。

（発表概要については本誌面に記載しています。）

第2部は市執行部との意見交換会を行いました。テーマとして、次の3項目を未来づくり協議会から出しました。

- ①地域づくり提案事業の充実について
- ②地域福祉のあり方について
- ③統廃合された学校の教育財産の管理について

これに対して執行部からは、①については各協議会等が策定済みの地域振興計画書を背景に、次年度は相当の予算額を検討していること。②については自助・互助（共助）・公助の連携で解決する取り組みや、介護に関する地域包括ケアシステムの構築・充実に向けて「地域包括支援センター」を次年度から各支所に設置すること。③については今後とも適切に保存管理に努め、同時に利活用の研究も進めて行くこと。こうした考え方が示され、有意義な意見交換会となりました。

開催日：平成28年2月10日（水）  
場所：本庁205号会議室



▲ 事業発表する持丸会長



▲ 市執行部との意見交換会

# 平成27年度未来づくり協議会の取組み

| 開催日                 | 事業名                               | 事業の詳細  | 参加者   |
|---------------------|-----------------------------------|--|---|
| 平成 27 年<br>4 月 20 日 | 第 1 回役員会                          | ○平成 27 年度<br>「総会及び第 1 回未来づくり協議会」要領検討   | 会長、副会長<br>事務局   |
| 5 月 28 日            | 未来づくり協議会総<br>会及び第 1 回未来づく<br>り協議会 | ○平成 27 年度役員体制について<br>○平成 27 年度事業計画・予算について<br>○市執行部との意見交換会  | 協議会委員<br>市執行部<br>事務局、支所                                   |
| 8 月 27 日            | 第 2 回役員会                          | ○「地域づくり研修会」及び「先進地視察研修」<br>について   | 会長、副会長<br>事務局   |
| 10 月 20 日           | 第 3 回役員会                          | ○「地域づくり研修会」役割分担及び「先進地視<br>察研修」について   | 会長、副会長<br>事務局   |
| 10 月 20 日           | 平成 27 年度<br>地域づくり研修会              | ○地域づくり活動事例発表（2 団体）<br>・上陽地区まちづくり協議会<br>・星野地区まちづくり協議会<br>○講演会 「地域を元気にする“魔法”～美里式<br>フットパスのススメ～」<br>講師：美里フットパス協会副会長兼運営委員長<br>井澤 るり子 氏 | 来賓（市長、議長）<br>まちづくり協議会<br>構成員、区長、<br>公民館長、議員、<br>市民（192 名） |
| 12 月 3 日<br>～4 日    | 先進地視察研修<br>（1 泊 2 日）              | ○地域づくりに関する先進的事例調査<br>・熊本県下益城郡美里町   | 協議会委員<br>事務局、支所   |
| 平成 28 年<br>1 月 20 日 | 第 4 回役員会                          | ○視察研修の総括及び第 2 回未来づくり協議会<br>開催要領の検討   | 会長、副会長<br>事務局   |
| 2 月 10 日            | 第 2 回<br>未来づくり協議会                 | ○地域づくり活動事例発表（2 事例）<br>・光友地区地域振興会議<br>・白木地区地域振興会議<br>○市執行部との意見交換  | 協議会委員<br>市執行部<br>事務局、支所                                   |
| 3 月 15 日            | 情報誌の発行                            | 未来づくり協議会事業報告   | （全戸配布）  |

## 地域づくり研修会

開催日：平成 27 年 10 月 20（火）

場所：おりなす八女 はちひめホール

### 《第 1 部》 地域提案事業を实践してきた事例発表

#### ◆上陽地区まちづくり協議会 「発表者：野中鐵也さん」

◇ひまわりを遊休地に植栽して景観づくり、みんなで取り組むこと  
で心の和を広げ、種から油をつかって商品開発という一石三鳥の  
地域づくりを行った「ひまわりプロジェクト」について報告

#### ◆星野地区まちづくり協議会 「発表者：高木良之さん」

◇平成 24 年 7 月の九州北部豪雨の甚大な被害を『星野村災害復興記録写真集』にまとめ、将来にお  
ける防災対策の環境づくりに取り組んでいる様子について報告

### 《第 2 部》 講演会

#### ◆演題：「地域を元気にする“魔法”～美里式フットパスのススメ～」

講師：美里フットパス協会副会長兼運営委員長 井澤 るり子 氏

◇ 地域をどうにかしたいとの思いから始めたフットパス活動。人が歩くことで、経費をかけずにある  
ものを活用して楽しめるなど、地域資源と地域住民が主体で取り組める新しい地域づくりの実例に  
ついて講演

